

科目名	学校図書館サービス論(講義)	科目ナンバー	CL-LB1136-S			
担当者 (実務経験名)	非常勤講師 槇山 柳子					
履修期	2年 前期	卒業単位	選択 2単位			
免許・資格	学校司書必修					
授業概要	読書センター・学習センター・情報センターとしての学校図書館の機能を生かしながら、児童・生徒・学生や教員の情報ニーズに対応し、読書の指導や授業を支援する情報サービスを提供するための知識と技能を学ぶ。					
到達目標	知識・理解	学校図書館サービスに関する知識を習得し、意義や理念を理解できるようになる。				
	思考・判断	学校図書館の制度や経営について、特徴を判断できる。				
	興味・意欲・態度	学校図書館が行っているサービスへの興味・関心と探究する意欲をもてるようになる。				
	技能・表現	学校図書館に利用する児童・生徒・学生・職員の利用やレファレンスの相談ができるようになる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容	時間 (時間/週)		
	1	学校図書館サービスの考え方と構造	「読書センター」「学習センター」「情報センター」について	4		
	2	学校図書館の運営「年間計画の作成と管理」	学校図書館年間運営計画について	4		
	3	学校図書館の環境整備①「資料の分類」演習【目録カード作成】	学校図書館においてはNDCに即した配架、案内表示について	4		
	4	学校図書館の環境整備②「展示・掲示」	学校図書館の展示や掲示の工夫により、資料を効果的な利活用	4		
	5	学校図書館の環境整備③「修理・廃棄」	廃棄基準の理解と活用について	4		
	6	学校図書館のガイダンス	学校図書館の基本的な役割を理解させる	4		
	7	資料や情報の提供 演習【読み聞かせ・ストーリーテリング等】	利用案内や予約サービス、レファレンスサービスについて	4		
	8	児童・生徒への読書支援①「読書活動の推進と図書館行事」	学校図書館を計画し実施するとともに、読書推進活動について	4		
	9	児童・生徒への読書支援②「読書活動推進の手法」	「読書会」「朝の読書」「ブックトーク」演習【ビブリオバトル】	4		
	10	児童・生徒への学習支援①「資料を活用した学習のすすめ方」	資料を活用した学習の実践について 演習【POP作成】	4		
	11	児童・生徒への学習支援②「児童生徒に対する支援」	効果的な支援方法を工夫し、支援を行う	4		
	12	教職員への支援「教職員への支援」演習【授業でのPOP作成】	授業におけるチームティーチングについて	4		
	13	広報活動「図書館だよりの工夫」 演習【図書館だよりの作成】	図書館だよりのホームページの効果的な活用について	4		
	14	渉外活動「地域との連携」「地域のネットワーク」	学校行事の充実を図るために学校図書館資料を提供する。	4		
	15	「学校図書館サービス論」で学んだこと 全体のまとめ	「学校司書の1日」プレゼンテーション 全体のまとめ	4		
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○		○		50%
	レポート	○	○	○		10%
	課題	○				10%
	実技(演習)				○	10%
	受講状況・態度			○		10%
その他(発表)			○		10%	
フィードバックの方法	提出したレポートは、添削し返却します。					
教科書	教科書は使用しない。プリントを配布する。					
参考書	『学校図書館サービス論』 小河 三和子著 青弓社					
アクティブ・ラーニング	演習「知的書評合戦」や「授業における作者の紹介や本の紹介」を通して、定義を理解し、それを具体的に実践し体験をする。					
ICT活用	プレゼンテーション自作の資料活用					
メッセージ・備考	学校図書館(小学校・中学校・高等学校)の「学校司書」として、役割について考えていきましょう					
関連科目	「学校経営と学校図書館」					